名嶋

[illegible]家家業　全

210.09
Sy957
W

210.09 Sy957

諸家家業目録

一　攝家（セツケ）
三　清華（セイクワ）
五　羽林家（ウリンケ）
七　羽林名家之外（ウリンメイカノホカ）
九　神祇伯（ジンギノカミ）
十一　文章博士（モンジヤウハカセ）
十三　能書（ノウシヨ）
十五　樂（ガク）
二　親王（シンワウ）
四　大臣家（タイシンケ）
六　名家（メイケ）
八　新家（シンケ）
十　和歌（ワカ）
十二　明經（ミヤウキヤウ）
十四　神樂（カクラ）
十六　蹴鞠（シウキク）

關口家藏物

国立国会図書館蔵書

国立国会
25.3.31
図書館

112278

ガラス使用

⑰ 装束(シヤウゾク)
⑲ 外記(ゲキ)
⑱ 陰陽道(オンヤウダウ)

清和ノ五十六代

國立國會圖書館藏書

諸家家業

一 摂家(セツケ)

近衛(コノヱ)　九条(クデウ)　二条　一条　鷹司(タカツカサ)

右ノ五家(ケ)ヲ。摂家(セツケ)トス。摂政(セツシヤウ)関白(クワンバク)ヲ以テ。先途(セント)トシ侍ルナリ。

摂政(セツシヤウ)　大化抄(タイクワセウ)曰(イハク)。取要　摂政(セツシヤウ)ハ。周(シウ)ノ成王(セイワウ)イトケナクシテ位(クラヰ)ニツキ給(タマ)ヒシトキ。周公旦(シウコウタン)ト云シ人叔父(ヲヂ)ニテ。此成王(セイワウ)ニカハリテ政(マツリコト)ヲ行(ヲコナ)ヒシヨリ。摂政ハ始(ハジ)マリタルナリ。我朝(ワガテウ)ニハ。清和(セイワ)天皇(テンワウ)ヲサナクテ位(クラヰ)ニ即(ツキ)タマヒシカハ。

ガラス使用

摂政ノ政
但シ臣トシテ
ノ場合

忠仁公ト云人母方ノヲヂニテ。天子ニカハリテ政ヲ行ヒシ也。周公旦ノ例トカヤ。是ヨリシテ今モ帝王ノヲサナクヲハシマス時ハ。摂政アルナリ。藤氏一人ノ外。此職ニ補スル事ハユメ〳〵ナキコトナリ。世末代ニナリタレトモ。サスカニ一人ノ外。此職ニ補スルコトナキニヤ。誠ニヤコトナキコトニソ。帝王ニカハリテ政ヲ行ヘハタヽ。主上ヲナシ事ニソカシ。任官叙位宣奏コトキモ。ミナ摂政ノ時ハ我直廬ニテ行也。凡臣下タル人。摂政ノ上スルコトハナキコトナリ。公事ナトヲ行フ

貞観ハ清和ノ
年号

成敗ハ
取計ラ
フコト也

コトモナシ。タヾ帝王ノ代ニテ。御ソハニ伺候シテ。御代官ヲスル人ナリ。節會ナトニモ。帝王ノヲサナクマシマスニカハリテ。主上ノ御作法ヲスルナリ。凡摂政関白ハ。物ヲシラテハカナフマシキコトニコソ侍レト云々。百寮訓ニ云。摂政。我朝ニハ忠仁公清和天皇ノ外祖ニテ。貞観ニ周公旦ノ例ニマカセテ。摂政スヘキヨシ詔ヲ下サレシナリ。摂政ハ。座ヲ天子ニヒトシクナラヘテ。天下ノ政ヲ成敗ス。サレハ天子ニヒトシクスル職ナリ。

ガラス使用

仁平ハ七十六代
近衛ノ年号

誠ニ摂政ノ職ハ旦讀夕見ト称シテ。我コトキ短才不堪ノ臣。シハラクモソノ職ニ有カタキコトニテ侍ルナリ。

摂政ト関白ト。其職相替事。

仁平元年三月三日。宇治左太臣記ニ云。頭朝隆朝臣来リテ示ス宸筆ノ宣命皇帝政事ヲ親ス名ハアリトイヘトモ其實ナヲコレカタメイカヽ奏シテイハク摂政ハ則チ天子ナリ。是ニヨリテ書トコロナリ。関白百官ノ捴己トイヘトモ。猶臣下

陽成院ハ五十七代
関白ノ始

ノ位ニアリ。其理書ヘカラス。シカノミナラス今テモ関白宸筆ノ宣命ヲ書例ヲ見ハス。

関白　大化抄曰　取要　漢朝ニ霍光ト云人宣帝位ニ即シトキ。此霍光ニ政ヲ関リ白セトテ。政ヲアツケラレシナリ。是関白ノ始メナリ。本朝ニハ。陽成院昭宣公ニ萬機ノ巨細。百官ノ捴己。皆関リ白セト云詔ヲ下サレシナリ。是モ漢ノ霍光ノ例ナリト云々

百寮訓ニ云。関白ハ人臣ノ位ニテ。只政ヲ管領

殿下
テンカトヨメバ天下ト
[illegible]

内覧ノ宣旨

太閤

スルナリ。摂政関白ヲ。殿下ト号シ。殿下ト申モ天下ニヲキテハ傍若無人ノ間。衆庶是ヲ貴テ申シ付タルナリト云〻

又内覧ノ宣旨トテ。奏スヘカランコト。下スヘカランコト。先コノ人ニ申スヘキヨシ宣下セラレテ。奏聞ヲスヘキコトヲモ又宣下セラルヘキコトヲモ大小トモニ皆関白承リテ其上ニテ奏聞ヲトケ。或ハ宣下シ侍ルコトナリ。関白ヲ辞ストイヘトモナヲ内覧ノ宣旨ヲノコサレシ人ヲ。太閤ト称ス。然ルニ近代関白ノ父タル人ヲ。大

執柄

閤ト号スルノミニナレリ。本儀又子ノ儀ニヨラス。前ノ関白ノ内覧ノ臣ニテ。猶政務ニ交ハリ侍ルヲ。大閤ト称スルナリ。又関白ヲ執柄ト称スルハ周礼天官ニ。以八柄詔於王駆於群臣ト云ヨリ称シ侍ルニヤ。諸家ノ輩ノソレ〳〵ノ家業モ。其柄ハミナ執柄家ニ執ルコトニテ侍ルナリ。公武大禮畧記曰ヲヨソ執柄ノ家門ヲ。摂家摂政殿下ナト申シ侍リテ。凡種ニ比類スヘカラサルコトナリ。百王ノ御政務輔佐ノタメニ。天地開闢ノ始。天照大神天

ガラス使用

兒屋根尊御兄弟。君臣ノ御約束タリト云〻。天津兒屋根トハイハユル春日藤氏ノ祖神也。往古ノ御誓約今ニクチサセ給サル故ニ一天ノ君万乗ノ主。御師範トシテ。摂政関白ノ御職ヲウケツカセタマフ。然レハ禁裡ニシテハ偏ニ院官ノ御行迹ニナソラヘ侍リテ。百氏千官ヲナサセラル。タトヒ當今ノ御連枝トイヘトモ。執柄ノ公達ニ對シテハ。各等輩ノ御礼節也ト云〻。三光院ノ抄ニ云。摂家ト申ハ。摂政家ト云心也。

近九二流

三代ノ正記

後光厳院ハ九十九代

元来ハ近九ノ二流ナリ。近衛ヨリ出タルヲ。鷹司ト称シ。九條ヨリ別レタルヲ。二條一條ト申ス。是ヲ摂家ノ五流ト号ス。近衛ハ系圖ノ面惣領タリトイヘトモ。名記是ナシ。九條ハ庶流タリトイヘトモ。月輪禅閤後京極摂政峯ノ関白ノ御記。是ヲ三代ノ正記ト号シテ。天下ノ鏡トス。シカル間正嫡ト見ヘ候歟。シカリトイヘトモ諸家ノ用ハ。五流差別ナシ。但二條ノ一流ハ。南朝御出奔ノ後。後光厳院聖運ヲ開シ。當代ノ御

112278

天下之御師範

嫡家

一流正統ヲ持タル事ハ。二條（後福光院摂政）一家ノ勲功也。是ニ仍テ今ニ至ルマテ。天下ノ御師範ト称スト云云。三光院抄ニシルセルコトク。嫡庶ノ沙汰ハ系圖ノ上ニテ。兄弟ノ儀ニヨラス。家業ノ口傳。并ニ先祖代々ノ文書ヲ傳領シ侍ルヲ。嫡家ト申シ侍ル事ナリ。右摂政関白ノ職。家業ノ儀。ホヾ記シ侍リヌ。此上ニ神代ヨリ摂家代々唯一人ニサツケ相傳シ来リ侍ル大嘗會。天神地祇ヲヲロシ奉ル大事。并ニ神膳ノ儀。又即位ニ灌頂ノ大事。コノ両條代々執柄ノ人。天子ニサツケ奉ルコトニ侍ル。次ニ節會。官奏。叙位。除目ヲ。四箇ノ大事ト名ツケテ。貞信公以来。代々ノ口决ヲ相傳シ侍ルナリ。是等ヲ以テ。摂家ノ家業トス。詩歌管絃能書等ハ。イツレモ尋常モテアソヒ侍レトモ。摂家ナトノ家業トスルモノニテハ侍ラサルコトナリ。

四箇之大事
節會
官奏
叙位
除目

摂家ノ家業

親王

㊁ 親王

伏見　八條

ガラス使用

伏見 琵琶
八条 和歌

諸親王

右兩親王。伏見ハ琵琶。後崇光院コノカタ代々堪能ノキコヘ侍ルカ。コノ道ニヲイテハ。當時モタクヒナク侍ルナリ。八條ハ。故式部卿和歌ヲ以テタシナミモテアソヒ侍ルナリ。

親王ノ儀。當時ハ旧儀カハリ。昔ハ皇子連枝ノ中。宣下ヲ蒙ラレシヲ。親王ト称ス。皇子連枝ノ外ハ。孫王ヨリミナ諸王ト号シ。臣下ノ官位ヲサツケラル。モシ諸王ノ中。御猶子ノ儀ヲ以テ。宣下ヲ蒙フリ侍ルトモカラハ。諸親王ト号ス。元和十七箇條ノ新制ニ。諸親王ヲ別ニシルサル。先規ニカナヒ侍ルニヤ。皇子連枝ニテモ。宣下ヲ蒙ラサル人ハ。同ク臣下ノ官位ニスヽム。皇子連枝ノ宣下ヲ蒙ルトモカラモ。姓ヲタマハレハ臣下ノ官ニナル。カクノコトク二世以下ハ。ミナ諸王諸臣ノ列ニ侍リテハ。公事ニシタカヒ。有職ヲ家業トシ侍ルコト也。

清華

㊂ 清華

七家

久我　三條　西園寺　德大寺　花山院
大炊御門　今出川

則闕之官

右華族ノ公達ト号ス。マタ清華ト称ス。コノホカ丞相ニ昇ルトモカラ侍ルトモ。大将ヲカ子ザル家ハタヽ大臣家ト称シテ。清花ノ名ヲ不得。清花ハ。太政大臣ヲ以テ先途トス。其職一人ニ師範シ儀形四海ニ云〻。其人ナキ時ハ則チカクト云〻。故則闕ノ官ト云。但シ此中ニ五相国ノ例ナキ家モ侍ルニヤ。サレトモ太政大臣ヲ兼侍ルトモカラハ。ミナ一例也。マタ當時皇子皇孫ノ姓ヲ給リテ。又大臣大将ニ昇リ。或ハ摂政関白ノ息ノ中。先途ヲトゲズシテ。大臣大将ニナリ侍ルトモカラヲ。清華トス。近代ソノ人ナキニ仍テ。右ノ三家等。英雄ノヲモイヲナスモノナリ。

令集解曰取要師トハ。人ニ教ルニ道ヲ以テスルノ称ナリ。範トハ。法ナリ。儀ハ。善也。形ハ。又法也。四海トハ。九夷八狄七戎六蛮也。又云。一人ヲ導クニ。先王ノ典籍ニ准テ。當時ノ憲章ヲ施ス也。是ヲ以テ人君其教ニ従ヒテ。ヨク天下ヲタモチ。福慶ヲ子孫ニ流フト云〻

太政大臣如

百寮訓ニ云。一人ニ師範シ。四海ニ儀形タリ。國ヲ治メ。道ヲ論シ。陰陽ヲ治ムル由見ヘ令ニ。ザレハ手佐ノオタクハヘテ。天子ヲタスケタテマツルヘキ器用ノ人ナルヘキ官ナリ。ソノ人ナケレハ闕之。故ニ曰ク則闕官也。摂政関白ノ兼官ナリ。但執柄ハ猶上ニテアレハ。太政大臣ヲハノソムコトナシ。主上御元服ノ時ハ。必執柄ノ任ルナリ。凡人ノ極官ナリト云々

大化抄ニ曰ク太政大臣。大伴皇子始テ是ニ任ス。摂政関白カケツカサナリ。又凡人ハソノ器ヲエランテ任セラル。シカルヘキ人ナキトキハ。則闕ニテヲカルヽナリ。故ニ則闕ノ官ト申ス。是モイミシキコトナリ。摂政関白ニツキテハ。此上スルコトナシ。コレモ公事ナト行フコトハナシ。タヽ重人ニテアルハカリ也ト云々

右清花ハ。相国ヲ以テ先途トス。清花ノ家業ハ。一人ニ師範シ。四海ニ儀形タル才智ヲタクハヘ。此上ニ四箇ノ大事等ヲ傳受シテアリヨク勵マシ侍ルヘキナリ。夫四箇ノ傳受ハ。ムカシヨリ諸家悉

ガラス使用

村上ハ六十二代

ク執柄家ヨリ授ケ侍ルヘキコトナリ。小野宮九條両流トテ。イサヽカカハリタル事ナト侍レトモ。ミナ執柄家ヨリ出タル流ニテ侍ルナリ。西宮抄ノ作者西宮左大臣ハ。九條ノ右丞相ノ弟子。北山抄ノ作者。四條大納言ハ。小野宮ノ流ニテ侍ルナリ。久我ハ。元祖土御門右大臣（師房）村上天皇孫王ニテ。源ノ姓ヲ給ハリ。臣下トナリテ家ヲタツル。有職宇治関白ノ弟子トナリテ。四箇ノ大事ヲモテ傳受シ。スナハチ猶子ノ礼ヲ

（節会、官奏、叙位、除目）

在子侍従ト
ハ此レ等ヨリ
思召字名ニヤ

シ侍シナリソレヨリ子息堀川左大臣（俊房）小野宮大納言（師頼）トツタハリ久我相國（雅實）ハ堀川左府ヨリ傳受シテ中院右大臣（雅定）久我ノ大納言（雅通）等相續シテ傳受ト見ヘタリ近クハ土御門大納言（雅房）光明照院攝政是ヲ授ク堀川内大臣（具親）北畠大納言（親房）等ハ後光明照院関白ヨリ傳受シ侍ルナリ三條西園寺徳大寺今出川等ノ元祖閑院太政大臣公季ハ九條ノ右丞相ノ息ニテ法興院攝政

ガラス使用

等ノ舍弟ニテ侍レハ公事ノ作法以下ミナ當流ヲ傳ヘテ侍ルナリ然シテ三條内大臣公敎德大寺右大臣公能ハ左大臣有仁ヨリ傳受ス有仁ハ父我相國雅實ノ弟子ナリ三條左大臣實房ハ中御門左大臣ヨリ相傳スミナコレ父我相國ノ末ニテ侍レハ當流勿論ナリ又西園寺常盤井相國實氏光明峯寺ヨリ相傳フウケテ子息冷泉相國ヘ傳ヘ侍ルヨシ見ヘタリ花山院ノ元祖左大臣家忠大炊御門ノ祖贈相國經實等ハ京極攝政ノ息後二條ノ關白ノ舍弟ニテ侍レハ門弟勿論ナリ但太政大臣忠雅ハ九條相國伊通ヨリ相傳ノ由見ヘタリ

大臣家

㊃大臣家

三條　三條西　中院

右大臣家ト号シテ内大臣或ハ右大臣ニテノナル家ナリ攝政關白太政大臣ナト公事ヲ行フコトナトニ依テ官中ノ公事ハミナ以テ左大臣ノ奉行スルコトナリ左大臣不參ノトキハ右大

ガラス使用

一ノ上

臣内大臣ツカサトルコト左大臣ニ同シ大代執ニ曰ク
左大臣ハマコトニ人ヲエランテ任セラルヘキ官ナリ
左大臣ヲ一上ト云ナリモロ〱ノ公事ミナ左大
臣ウケタマハリテヲコナフナリ節會内辨官奏
上卿除目叙位執筆以下ノ大事ミナ一上ニヲ
ホセラルヽコトナリモシサハリアルトキハ次ノ大臣マイリ
テヲコナフナリト云・

百ニ云左大臣モロ〱ノマツリコトヲ奉行ス凡
大臣ニハ一上ノ宣下ト云事アリ第一ノ臣下ナ

レハ大政官ノ事ヲコト〱ク沙汰スルナリナニコト
モ禁中ノ公事ハ一上ノマイリテ行フコトナリ不
參ノ時ハ次ノ大臣大中納言モ奉行スルコトニテ
侍レコレモ中院閑院ノ黨重代ノ人々才能ニヨ
リテ任スルナリ昔ハ文才ナキ人ノ任ニ大臣コトハナ
キコトナリ中古以來ハ譜代トテ無才無能ノ
人モ任ル政ノスタレタルナリ右家業ノ麦四箇大
事有職故實ヲムネトシ侍ルコト清花ニ同シ
傳受ノ次第右ノ清花ノ餘胤ニテミナ當流ノ

ガラス使用

スヱナリ近クハ後称名院内大臣公保ハ後福照院摂政逍遥院内府実隆ハ大染金剛院関白ヨリ傳受

⑤羽林家

四辻　中山　飛鳥井　冷泉　六條
阿野　清水谷　小倉　橋本　姉小路
綾小路　庭田　松木　持明院　滋野井
川鰭　水無瀬　園　難波　白川
四條　鷲尾　山科　西大路　油小路

己上先祖ヨリ近衛司ヲ経中少将ヨリ昇進シ侍リテ武官ヲカ子剣笏ヲ帯スルヲ羽林次将ト云テ諸ノ宿衛禁軍ノコトヲツカサトルナリ中少将ヲ経ルハ摂家清華以下羽林家ナリ多クハ英雄ノトモカラナル事ナリシカルニシイテ大臣ノ子孫ニアラサレ𪜈先祖ヨリ成ツテタル家コレアリ中ニモ宰相ニ中将ヲ兼テ任スルハ凡ソ三家ノ餘流ナリナニカレノ宰相中将ト称シ侍ルナリ或ハ羽林方ニ藏人頭ヲカ

ガラス使用

子テ頭中將ト称ス一タ規摸ナリ辨官ヲ兼帯スルハ公達ノ中才名アル人ノコトナリコトニコレヲ執シ侍ルナリ右大納言或ハ中納言参議等ヲ以テ先途トスルナリ納言ニナル家ハ大臣ノ與奪ニヨリテ節會官奏叙位除目以下ノ公事ヲ行ヒ侍ル故ニ大臣ノ職掌ニヒトシキモノナリサレハ此家ニモ有職故實ノ儀ヲ家業トシ侍ルコト右ニヲナシ但シコノ中ニモ神祇伯ハ神道ヲ以テ家業トス和歌蹴鞠等

ノ類サラニ左ニ記シ侍ルモノナリ

⑥名家

日野　廣橋　烏丸　柳原　甘露寺
葉室　万里小路　勧修寺　中御門
清閑寺　小川坊城　竹屋

已上先祖ヨリ文筆ヲ面トシテ儒道ヲコナフ弁官ヲ經歴シ職事ヲ兼ル家ナリ凡ソ辨官ハ管轄ノ任權衡ノ職トシテ官中ノ事大辨トリヲコナフ所ナリ仍テ重職タリ此

ガラス使用

職事ハ天下ノ訴訟諸人ノ所望親疎ヲ論セス貴賤ヲイハス天聴ニ達スル職ナリ辨官職事ニ廷尉ヲカヌルヲ規模トシ侍ルナリ

右近代任槐数代ノ家アリ又一代ノ家アリ或ハ准大臣ノトモカラアリナヘテハ大納言以下ヲ以テ先途トス此中竹屋ハ参議以上ノ例見ヘス然トイヘトモ名家ノ一列ナリ名家業ハ儒学ヲ面トシテ有職故實ヲ兼行シ侍ルナリ名家ハ才名ヲ以テ家ヲ立侍ルユヘコトニ代々名記ナト記シ置侍ルナリ有職口傳等摂家ノ流ヲウケ侍ル事右ニ同シ

㊆羽林名家之外

高倉　高辻　五條　坊城　唐橋

五辻　竹内　富小路　舟橋　土御門

以上名家羽林ノ外ナリ此中ニモ名家同准ノ家アリシカルニ中少将弁官等ヲ経歴セサルトモカラハシハラク名家羽林ノ外ニ記シ侍ルナリマタ大納言ニ任スル家アリ或ハ散二位三

位ヲ先途トスル輩侍ルナリ

⑧新家

松殿	藪内	堀川	樋口	平松
冷泉	日野西	藤谷	櫛笥	東園
久世	花園	裏辻	岩倉	七條
梅園	千種	塩小路	倉橋	

以上新家ナリ各當代本家ヨリワカレテ更ニ家ヲタテ侍ルトモカラナリ右攝關清華大臣家羽林名家以下當時ノ家督タルトモカラヲシルシ侍ルモノナリ此中別ニ家業アルトモカラサラニ又左ニ記シ侍ルナリ

王氏

⑨神祇伯

白川

代々伯ニナリテ大神宮神祇官等ノ事ヲツカサトル又主上執柄有障トキハ毎日ノ御手代ノツトメ侍ルナリ昔ハ諸氏混シテ任ス一タ高家ノ人是ニ任ス中古以来王氏トテ白川譜代ニテ任シ侍ル也又副祐史アリ大中臣卜部

ガラス使用

齋部伊岐氏等

十 和歌

二條　冷泉　飛鳥井　三條西

右二條冷泉ハ五條三位ワカレノ始ハ爲氏爲相飛鳥井ハ参議雅經三條ハ逍遙院内府以来ノ事ト見エタリ當時ハ中院大納言阿野大納言水無瀬中納言ナト多年歌家ヲハケマシ侍シナリ

十一 文章博士

高辻　坊城　五條

近代三家相續テ任シ来ル大内記モ此家譜代トナレリ以前ハ右ノ名家ノ中日野或ハ南家以下ノ諸氏ノ中ヨリ才智アル輩ヲ任セラル唐橋ナトモ近代儒業ヲ失ヒ侍リシナリ文章博士ハ紀傳ノ儒トシテ史書ヲニナヒ諸ノ文章ノ事ヲ司トル又内記ハ詔勅宣命等ヲ書コレニヨリテ文筆相兼タル人ヲ任スルナリ是等近代菅家ノ家業トナリ侍ルナリ

ガラス使用

清原良枝
七代侍讀

儒
紀傳
明經
明法
算道

明經

舟橋

右代々明經博士ニ任シテ本經ヲ家業トニナヒ侍ル又中家モコレヲ家業トス然ルニ清原良枝七代ノ侍讀タリ七旬ノ耆老トナリテロツカラ六經ノ說ヲ撰ケ奉ル古今未曾有也云々

本朝四道ノ儒ハ紀傳、明經、明法、筭道ニテ侍ル紀傳明經ハ右ニ見エタリ明法ハ律令格式ヲニナフ坂上中原ノ兩流家業トス近代ナキカコトシ筭道ハ三善小槻ノ兩流是ヲ家業トス善家ハ筭術ヲ習ヒ小槻ハ諸國ノ調賦筭勘ノタメニ其職ニ居ル善家ハ西園寺ノ諸大夫ナリ近代斷絶ス小槻ハ官務ナリ事ノツイテニ四道ノ儒ノ事記シ侍ルナリ

能書

清水谷　持明院

右ムカシヨリ能書ノトモカラアマタ侍レトモ權大納言行成以来譜代シテ家業トナリ侍シハ世

尊寺ノ流ナリ又近代清水谷モ相傳ス彼寺断絶ノ後持明院ハ権中納言基規以来口决ヲツタヘ置侍ト見ヘタリ

⑭ 神樂

綾小路　持明院　四辻　庭田　五辻
鷲尾　藪内　滋野井

右綾小路ハ刑部卿政長堀川院郢曲御笛ノ師ニ参リテヨリ代々御師トナリテ郢曲和琴箏笛笙篳篥等ヲ相傳シキタリ侍ル三代

鈴虫中納言

ノ天子ノ師範ニテ鈴虫ノ中納言ト世ニ称シ侍ルモ此先祖ナリ此外和歌蹴鞠馬鷹等ノ道モ代々兼行シ侍リシ家ナリ庭田モコノ餘流ニテ郢曲笛等ノ家ニテ侍ル但當代参勤シ侍レサルナリ鷲尾モ當時沙汰セス藪内滋野井譜代ノ儀ニアラスサレトモ當時稽古ヲハケミシ参勤シ侍ルナリ

⑮ 樂

和琴

四辻　大炊御門

ガラス使用

琵琶
伏見　西園寺　今出川　園
綾小路

箏
四辻　正親町　綾小路　藪内

笛
大炊御門　綾小路　徳大寺　久我
三條轉法輪　甘露寺　橋本

笙
花山院　清水谷　松木　四條
山科

篳篥
綾小路

右代々ハケマシモテアソヒ侍ルト見ヘタリ加様ノ儀定テハシルシカタキコトニ侍レト御神楽御遊等ノ記ニ代々見エ侍ルユヘニ粗シルシ侍ルナリ西園寺今出川等ハ古来御師範ニマイルヨシ見ヘタリ近代伏見ニマイラルヽカ園モマタムカシヨリ譜代

後土御門院八
百四代

ノ家業ニテ侍ル大炊御門ハ兩道ノ御師範ニ參ルト見ヘタリ四辻ハ権大納言季經後土御門院ノ御師範ニ參テヨリコトサラ當道ヲ以テ家業ノヤウニナリ侍ル已前ハ洞院家ヨリ御師範ニ參リシカトモカノ家断絶ノノチ四辻代々御師申シ侍ルナリ以上書アラハシ侍ル中ニモ當時ハ稽古ノ沙汰シ侍ラサルトモカラモ侍ルニヤ

蹴鞠

飛鳥井　難波　冷泉　綾小路

右飛鳥井ハ參議雅經難波ハ舎兄刑部卿宗長以来譜代ノ家業トナレリ冷泉綾小路ハ近代其道断絶此外賀茂ノ社司代々蹴鞠ノ時メシクハヘ侍ルト見ヘ侍ルナリ

裝束

三條　轉法輪　大炊御門　高倉　山科

右裝束ハ有職故實ノ一也仍テ三條大炊御門等先祖ヨリコトサラ是ヲ沙汰スルト見ヘ侍ル

ガラス使用

三条
大炊御門

高倉
山科
[illegible]

但三條ハ代々裝束色目等ノ事ヲサタシ大炊御門ハ代々御裝束著御ノ儀相續スト見ヘタリ然ルニ兩家トモニソノ事斷絶シ侍ルニヤ近代ハ高倉山科コレヲ沙汰ス高倉ハ本コレ大炊御門ノコトク著御ノ事ヲ奉行ス然ルニ調進ノ儀モ相兼ルト見ヘタリ山科ハ内藏頭ノ職ニツイテ調進ノ事ヲモトヽスト見ヘタリ

㊅ 陰陽道

天文暦數ノ事ヲツカサトルムカシハ一家兩道ヲ兼シカルニ賀茂保憲暦道ヲソノ子光榮ニツタヘヌ天文道ヲ弟子安倍晴明ニツタフコレヨリフタツニアイワカル賀家ハ近代斷絶ス當時ハ庶流身固反閇等ノコトヲツトメ毎歳ノ御暦ヲ調進ス安家ハ右ノ土御門ナリ天文道ヲ宗トシテ天変地妖コトキノ恠異ヲウラナヒ申シテ勘文ヲタテマツル家ナリシカルニ當時コノ事サタナシ一、夕醫道ニ和氣丹波ノ兩氏アリ和氣ハ正嫡近代斷絶ス丹波ハ當時院ノ上北面ニ伺候シ侍ル典藥頭ニナリテ

屠蘇白散以下御薬ヲ調進セシメ侍ルコレヲ醫陰ノ両道ト称シ侍ルコトナリ

⑲外記　史（フヒト）

外記ハ一ノ外記ヲ局務ト云清中ノ家兄ニ任ス然シテ清家ハ秀賢朝臣昇殿ヲユルサレテヨリ外記ニ任セス已ニ三流断ス其職掌恒例臨時ノ公事除目叙位等ノコトヲ奉行ス又令ニ詔奏ヲナシカヘ公文ヲ読申ス事ヲ掌トルナト見ヘ侍ル凡天下ノ文書ヲカキヲイテモロ〱ノ勘例ノ事ヲシル職ナリ史ハ一ノ史ヲ官務ト云職掌太政官ノ文書コト〱クコレヲシルス又令ニ判官以上ノ處分ヲ受テ載録スル事ヲツカサトリ文案ヲカンカヘ作リテ是ヲ署スト見ヘ侍ル公事ヲ奉行シ先例ヲカンカフル事外記ニヲナシコレヲ両局ト称ス諸ノ宣旨ミナ両局トシテ書侍ル事也

臺井
己トモ
御實白井
以木

西高

諸家家業終

寛文八戊申歳孟秋吉辰
下御霊前
谷岡七左衛門刊行

ガラス使用

全一冊
光　年
第二千
四百八十號

無客